

# 事例名：「中国地域次世代中核産業形成プロジェクト」の推進

## 機関及び連携機関

▶ 社団法人中国地域ニュービジネス協議会

## 功労者

▶ 社団法人中国地域ニュービジネス協議会  
クラスターマネージャー・チーフコーディネーター 清田憲一

## 事例の概要

▶ 平成13年度から経済産業省が推進する「産業クラスター計画」は、現在全国に19のプロジェクトがあり、地域の経済産業局と民間の推進組織が一体となり、新事業に挑戦する地域の中堅・中小企業約6,100社、250校を超える大学の研究者等と緊密に連携、協力している。中国地域においては、中国経済産業局と当協議会が一体となり、2つのプロジェクト(中国地域次世代中核産業形成プロジェクト、環境・循環型社会形成プロジェクト)を推進中。

功労者の清田憲一氏は、「中国地域次世代中核産業形成プロジェクト」の企業間・産学官連携コーディネーターとして平成14年より活躍している人物。「中国地域次世代中核産業形成プロジェクト」は企業約110社、大学・公的研究機関21機関、自治体14団体が連携)

▶ 清田コーディネーターは、お互いの顔が見える連携を基本に「産学中心の新技术開発」「産官中心の新技术のビジネス化」「産産による次世代に適応したビジネスモデル創成」に取り組んでいます。

▶ 研究開発活動として40件のコーディネート活動を行い、中でも「ビジネスプロモート研究会」(自動車・造船・産業機械等ものづくり・IT分野、バイオ分野)を、各地で17テーマを立ち上げ、産業活性化へと拡大貢献出来るよう目指しています。

### (特筆すべき事項)

▶ 「ビジネスプロモート研究会」・・・核となる新技术や新商品を持つ企業・大学等を中心に、関連する人々が連携を組み、新しい事業化に向けた共同研究を行う。

## 具体的成果等

### 事例1

#### ワンショット中空段付成形技術の開発(中国地域融合企業化研究会)

(株)久保田鐵工所のコア技術を中心に、独自の高い技術力を持つ7社で研究会を結成し、コーディネート活動を通じて産学官のネットワークを構築した。

(平成14年度に「地域新規産業創造技術開発費補助事業」を活用して高精度な「ワンショット工法」の開発に成功、部材の中空化による大幅な軽量化とコストダウンを実現した。平成16年度には「新連携対策委託事業」により、ビジネスプラン作成から販路開拓までトータルな支援を受け、国内外での事業展開を目指している。)

### 事例2

#### 高度情報化社会の雷害紡糸機(避雷器)の開発

山陽電子工業を中心に、岡山大学ほか企業と連携させ、コーディネート活動を通じて産学官のネットワークを構築した。

(平成17年度に「地域新規産業創造技術開発費補助事業」を活用して、内部の金属などの素材開発に成功、落雷から電子機器を守る避雷器を商品化し、平成18年4月発売に至った。)